

第18回 全国大会・研究発表大会 最優秀ポスター賞 受賞記

青山学院大学社会情報学部 清水舞羽

この度は最優秀ポスター賞にご選出頂きありがとうございます。審査員の皆様、全国大会・研究発表大会の運営関係者の皆様、情報システム学会関係者の皆様、ご意見賜りました大会参加者の皆様に厚くお礼申し上げます。

本賞は「小規模企業者に適した情報システムの要件に関する考察—BtoC形態で多様な業種の検討を中心に—」のタイトルで発表させて頂きました。研究では、多種多様な小規模企業者を対象に半構造化インタビューを行い、結果を修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)を用いて分析しました。その結果、本業以外のサービスをも提供する小規模企業者と顧客との長年の信頼関係により事業が継続してきたこと、阿吽の呼吸での従業員同士での意思疎通が小規模企業者特有の特長である一方、IT化の遅れにも繋がっている可能性があることを明らかにしました。また、小規模企業者の店主が多くの場合、経営の計画を立てずに営業し、店主の興味によって柔軟に方向性を変えていることから、「こうあるべき」という理由によってではなく「こうありたい」という店主の想いを柔軟に体现できる情報システムが小規模企業者に適していることを示しました。

全国大会・研究発表大会で頂きましたご指摘・ご意見をもとに、更に研究を深めて行きたいと思えます。今後も、多種多様な小規模企業者に適した情報システムの検討により焦点が当てられ、小規模企業者の価値創造が後押しされることを願います。

末筆ながら研究にあたり、ご指導頂いた宮川裕之教授、居駒幹夫特任教授に深く感謝し、お礼を申し上げます。